

●財団だより●

2022 年度事業内容

本財団は人類の健康増進を図ることを使命とし、主として基礎的な医学医療に関する分野において、研究助成・研究交流その他の研究に関する事業を行い、もって医学医療の振興に寄与することを目的としております。この目的を達成するために次の事業を行います。

- (1) 基礎医学医療に関する研究に対する助成。
- (2) 基礎医学医療に関する研究を行う学会、研究会へわが国の研究者の海外派遣に対する助成。
- (3) 基礎医学医療に関する研究を行う外国人留学生に対する助成。
- (4) 基礎医学医療に関する研究成果の出版に対する助成。
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

2022 年度助成事業募集期間の予定

(A) 第 37 回基礎医学医療研究助成金	6 月 1 日から 7 月 6 日
(B) 第 7 回生体の科学賞	11 月 1 日から 11 月 30 日
(C) 第 37 回研究交流助成金	11 月 1 日から 11 月 30 日
(D) 第 37 回留学生受入助成金	11 月 1 日から 11 月 30 日
(E) 第 36 回研究出版助成金	11 月 1 日から 11 月 30 日

公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階

TEL 03-3815-7801 Email info@kanehara-zaidan.or.jp

次号予告

第 73 巻 2 号/2022 年 4 月刊

特集「DNA 修復による生体恒常性の維持」

ゲストエディター：宮川 清（東京大学）

特集によせて 東京大学 宮川 清

I. DNA 修復の分子メカニズム

1. DNA 修復総論 東京大学 宮川 清
2. 酸化 DNA 損傷の修復 九州大学 續 輝久
3. 紫外線による DNA 損傷の修復 金沢大学 松永 司
4. 放射線による DNA 損傷の修復 東京工業大学 松本 義久
5. DNA 架橋の修復 国立がん研究センター研究所 石合 正道
6. DNA 複製と修復 名古屋大学 増田 雄司
7. DNA 損傷によるクロマチンダイナミクス 京都大学 井倉 毅

II. DNA 修復と疾患

8. 紫外線高感受性疾患 神戸大学 錦織 千佳子
9. 放射線高感受性疾患 国際医療福祉大学 小林 純也
10. 早期老化における染色体不安定性 山口東京理科大学 嶋本 顕
11. 循環器における DNA 修復の役割 東京大学 野村 征太郎

III. 生体恒常性維持における DNA 損傷応答

12. DNA 損傷応答と代謝 長崎大学 鈴木 啓司
13. 低線量放射線の生体影響 広島大学 田代 聡
14. DNA 損傷応答の年齢依存性 放射線医学研究所 今岡 達彦

III. がん治療における新たな方向性

15. 放射線治療抵抗性の生物学 京都大学 原田 浩
16. DNA 修復研究のがん治療への応用 東京大学 細谷 紀子